

問1 室町幕府において、将軍を補佐するために置かれた幕府の重要役職を何という？

1. 探題 2. 管領 3. 守護 4. 地頭

問2 足利尊氏が京都に開き、武士による統治体制を確立した新しい政府を何という？

1. 室町幕府 2. 江戸幕府 3. 鎌倉幕府 4. 明治政府

問3 将軍を補佐し、幕府の政治を統括する最高位の役職を何という？

1. 守護 2. 引付衆 3. 管領 4. 評定衆

問4 琉球王国が中継貿易を行う上で、最も重要な窓口となっていた当時のアジアの大国を何という？

1. 日本 2. タイ 3. 朝鮮 4. 中国

問5 1467年、将軍の跡継ぎ問題と守護大名同士の対立がきっかけとなって起こった大きな戦乱を何という？

1. 応仁の乱 2. 元寇 3. 観応の擾乱 4. 明応の政変

問6 室町時代中期、将軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけとなった出来事は？

1. 享徳の乱 2. 応仁の乱 3. 観応の擾乱 4. 文明の乱

問7 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？

1. 佐敷 2. 那覇 3. 浦添 4. 首里

問8 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何という？

1. 龍安寺石庭 2. 等持院 3. 鹿苑寺金閣 4. 慈照寺銀閣

問9 室町時代に歌舞劇である能を芸術的に高め、大成させた、室町幕府の第3代将軍は誰か？

1. 足利義満 2. 足利義政 3. 足利義教 4. 足利尊氏

問10 15世紀に中継貿易で栄えた東アジアの王国を何という？

1. 朝鮮王国 2. 琉球王国 3. 大越国 4. 蝦夷地

問11 室町幕府が、中国の明と行っていた貿易のことを何という？

1. 南蛮貿易 2. 朝貢貿易 3. 朱印船貿易 4. 勘合貿易

問12 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？

1. 朝貢貿易 2. 南蛮貿易 3. 勘合貿易 4. 中継貿易

問13 京都の東山に慈照寺銀閣を建て、書院造を代表する遺構を残した室町幕府の将軍は誰？

1. 足利義教 2. 足利義政 3. 足利尊氏 4. 足利義満

問14 勘合貿易が始まるきっかけにもなった、当時朝鮮半島や中国沿岸を荒らしていた海賊集団のことを何という？

1. 倭寇 2. 島原の乱 3. 一向一揆 4. 元寇

問15 鎌倉府の長官として、足利氏の一族が世襲して関東地方の軍事や行政を司った役職を何という？

1. 奥州探題 2. 京都管領 3. 九州探題 4. 鎌倉公方

問16 慈照寺銀閣の東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？

1. 書院造 2. 床の間 3. 和室 4. 畳

答え合わせ・解説

問1	答え 2 管領	「管領」は幕府の最高職であり、将軍に代わって政務を取り仕切る重要な役割を担いました。特に力のある有力な守護大名の家柄（斯波、細川、畠山氏など）から選ばれることが多く、幕政の実権を左右する大きな影響力を持っていました。
問2	答え 1 室町幕府	尊氏は京都に拠点置き、自らを征夷大将軍として「室町幕府」を開きました。幕府は将軍の補佐役である管領や、地方を統治するための鎌倉府などの組織を整え、武士による新たな支配体制を築き上げました。
問3	答え 3 管領	管領は、将軍の下で幕政を統括する最高の役職です。特に斯波・細川・畠山という有力な守護大名の家系が交代で就任する「三管領」と呼ばれる制度が定着しました。
問4	答え 4 中国	琉球王国は明の皇帝から認められることで、東南アジア諸国との貿易を自由に行うことができました。中国から手に入れた陶磁器や絹織物などを、日本や東南アジアへ運ぶことで、東アジアにおける物流の要所としての役割を果たしました。この貿易ルートのおかげで、琉球王国は短期間で急激な経済発展を遂げることができました。
問5	答え 1 応仁の乱	この対立は1467年に武力衝突へと発展し、京都を主戦場として約11年間にわたって続きました。将軍の権威は失墜し、守護大名同士の勢力争いが全国へ拡大しました。
問6	答え 2 応仁の乱	8代将軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。京都は灰燼に帰し、幕府の権威は地に落ちました。
問7	答え 4 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産物を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問8	答え 3 鹿苑寺金閣	鹿苑寺金閣は、この北山山荘の中核として建てられた舍利殿です。2層と3層に金箔が貼られており、池に映る姿は室町文化の豪華さを象徴しています。
問9	答え 1 足利義満	義満は、観阿弥・世阿弥の父子による猿楽（能）の才能を高く評価し、強力な後援者となりました。これにより、能は庶民の芸能から武家社会でも愛される芸術性の高い芸能へと進化しました。また、彼は金閣を建てるなど北山文化を築いたことでも知られています。
問10	答え 2 琉球王国	琉球王国は、中国（明）、日本、東南アジアの国々を繋ぐ「中継貿易」で莫大な利益を得ました。この貿易によって得た富により、独自の華やかな文化を築き上げました。万国津梁の鐘には、世界の架け橋となるという琉球の誇りが刻まれています。
問11	答え 4 勘合貿易	勘合貿易は、倭寇の取り締まりを条件に明との間で行われた公貿易です。幕府や一部の大名が主導し、銅銭や絹、美術品などを輸入しました。これにより莫大な富を得た幕府は、室町文化の発展を支えることになりました。
問12	答え 3 勘合貿易	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。これにより倭寇と区別され、円滑で利益の大きい貿易が可能となりました。細川氏や大内氏といった有力な守護大名がこの貿易の実権を争い、大きな利益を得ました。
問13	答え 2 足利義政	義政は京都の東山に山荘として東山殿（のちの慈照寺、銀閣）を造営しました。その中の東求堂同仁斎という建物には、書院造の特徴である「床の間」や「違棚」が備わっており、後の日本建築に多大な影響を与えました。
問14	答え 1 倭寇	倭寇は朝鮮半島や中国沿岸の都市を襲撃し、略奪や密貿易を行っていました。被害に悩まされた明は、日本側にこれらを取り締まるよう要求しました。その結果、室町幕府は正規の貿易船を証明する「勘合符」を発行し、正規の貿易船と海賊を区別することで貿易の安全を図りました。
問15	答え 4 鎌倉公方	鎌倉公方は、室町幕府の将軍の親族が任命されることが多く、関東における事実上の将軍代理として君臨しました。関東管領という補佐役をつけ、独自の行政権や軍事動員権を行使することで、強力な地方政権のような形をとっていました。
問16	答え 3 和室	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁斎という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。